

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	205分
誠友会	3人	165分
日本共産党	2人	145分
市民連合	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



早川 佳行
水曜会
(60分)

加茂地域の公共施設整備の考えは

問 加茂学区民は、周辺の合併した地域と同じような公共施設の整備が必要と考えるが、市の考えは。

答 学区内の公共施設の在り方について総意をまとめられたことは、自らのまちは自らがつくると

いう成熟した住民自治意識の下、協働のまちづくりが進められていることによるものであり、本市としても地域の思いを十分に受け止めたいと考えている。地域のご意見は、学区内にある支所、福祉会館等5つの施設を集約し、新たに施設を整備するというものである。今後、地域の方と十分議論する中で思いを共有し、地域特性に合った地域の活性化につながる施設となるよう、市の公共施設等サービス再構築基本方針を踏まえ施設の集約・複合化に向けて検討していく。



神原 則男
水曜会
(60分)

都市のコンパクト化は

問 都市のコンパクト化の実現には、市民自らの意思による自然な移動をいかに進めるかがポイントであると思うが、見解を。

答 医療、福祉、商業等、生活に不可欠な施設の経営は、その周辺の居住人口、いわゆる商圏人口

に依存していることから、商圏人口は、地域の活力を表すものであると考えられる。商圏人口が維持される地域には、それらの施設の立地などにより利便性を求めて人口が移動すると考えられる。

市のホームページに公表している商圏人口分布図等は、将来の人口の移動の状況や生活に不可欠な施設の立地状況を分かりやすく表示しており、市民のライフステージに応じた生活設計等に活用されることで、自然で無理のない都市のコンパクト化を緩やかに進めることができるものと考えている。



連石 武則
水曜会
(60分)

鞆のまちづくりは

問 ①重伝建の選定や朝鮮通信使に関する記録が世界記憶遺産に登録されたこと等を通じてまちづくりをどう進めるのか。②埋め立て架橋計画撤回後の代替策の取り組み状況は。

答 ①今後も地域の皆さまと一体となって全国に誇れる鞆の町並

みを永く継承し、文化あふれる良好な生活環境の形成と魅力ある地域づくりにつなげる。また、鞆の浦の認知度向上に伴い、観光客の増加が見込まれるため、観光ルート上の手すりの整備や、新たな場所への設置も含めてトイレの配置について検討し、観光客等が快適に周遊できる環境整備に取り組み。②県は、代替策として示されている山側トンネルを含む全体的な方針等について、地元と意見交換を継続する考えであり、本市としては、事業が着実に進捗するよう引き続きしっかりと調整していく。

*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。